



アレルギー性鼻炎



神村盛一郎

徳島大学病院
耳鼻咽喉科・
頭頸部外科講師
(徳島市蔵本町2)

薬飲んでも鼻水止まらず

質問 25歳女性です。アレルギー性鼻炎と診断され、血液検査をするとダニやスギ、リンゴなどのアレルギーがあることが分かりました。「ベポタスチンベシル酸塩」や「アレグラ錠」

を処方され、飲んでいますが、服用後、数時間で鼻水が止まらなくなります。アレルギー性鼻炎は、一度発症したら治らないものなのでしょうか。有効な対処法があれば教えてください。

答え

アレルギー性鼻炎はダニ

やスギ花粉などのアレルギーに対する免疫反応が原因で、鼻水、鼻詰まり、くしゃみを引き起こします。一度発症すると長期間症状が続くことが多いですが、適切な治療により症状を抑えることができます。

質問者が服用している薬は抗ヒスタミン薬と呼ばれ、アレルギー性鼻炎の症状を和らげる基本的な薬です。効果はあるようですが、症状がある間は服用を続ける必要があります。

抗ヒスタミン薬は服用されている薬以外にも、多数の薬が発売されています。1日1回の服用で済むものや眠気の副作用が少ないもの、鼻詰まりへの効果が強いものなどがあり、薬によって少しずつ違いがありますので、変更を考えたもよいかもしれません。

抗ヒスタミン薬以外では鼻噴霧用ステロイド薬やロイコトリエン受容体拮抗薬などがあり、症状の緩和に有効です。複数

症状軽減 免疫療法や手術で

の薬を併用することもあります。

また、これからの季節はスギ花粉が飛散し、スギ花粉症の症状が出現するかもしれません。症状が出る前に服薬を開始することが有効で、初期療法と呼ばれるいます。重症のスギ花粉症の患者さんには生物学的製剤であるオマリズマブという注射薬が投与できます。

アレルギー性鼻炎の唯一の根本的治療法と考えられているのは、アレルギー免疫療法です。これは、原因アレルギーを少量から投与し、アレルギーへの反応を軽減する治療法です。近年はアレルギーを舌下に投与する舌下免疫療法が普及しています。スギ花粉やダニに対する舌下免疫療法は3〜5年間の継続が必要ですが、長期的な症状軽減が期待でき、うまくいけば薬物療法が必要なくなります。

薬物療法で十分な効果が得られない場合は手術療法を検討します。下鼻甲介粘膜レーザー焼灼術や経鼻腔的翼突管神経切断術などを行います。見落とされがちですが、アレルギーに曝露しないようにアレルギーの除去や回避を試みることも重要です。ダニへの対策では清掃や除湿、防ダニ布団カバーなどが有効です。スギ花粉への対策にはマスクや眼鏡を使用するのがよいでしょう。

アレルギー性鼻炎の治療法は年々進歩しています。詳しくは耳鼻咽喉科にご相談ください。



質問募集

読者の健康に関する悩みに、県内の専門医がお答えします。病気、体調不良などの症状を詳しく書き、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を明記し、郵便番号770-8572 徳島新聞社生活文化部「健康相談」係へ。Eメールはkurasi@topic.s.or.jpへ。紙面に住所、氏名、電話番号は掲載しません。